

2024年度 第4回 複合型サービスきょうりつ（看護小規模多機能型居宅介護）
運営推進会議

日 程：2024年11月22日（金） 14:00 ～ 14:40

場 所：複合型サービスきょうりつ 家族談話室

出席者： 綾部市高齢者支援課：小松 愉紀 様
中部地域包括支援センター：小野 明日香 様
サロン広楽：梶村 隆三 様

複合型（管理者）：白波瀬 実

欠席者： 複合型（訪問看護）：清水 麻里

1、報告事項

- ・10月度実績：延べ登録者数 27名
延べ短期利用 0名
- ・平均介護度：3.26
- ・利用地域：黒谷、広小路、篠田、館、大島、位田、味方、栗、駅前、青野、
本町、物部、岡、中ノ町、寺町、上野、多田、下八田、安国寺
神宮寺 ()…新規
- ・サービス別 延べ提供数
通い：502回 泊り：217回 訪問（介護）：227回 訪問（看護）：18回
全サービス提供回数：964回（一人あたり週平均サービス提供回数：7.3回）
（前回8月の実績）延べ登録者数 26名 短期利用0名 平均介護度 3.27
通い：433回 泊り：164回 訪問（介護）：219回 訪問（看護）：14回
全サービス提供回数 830回（一人あたり週平均サービス提供回数 5.9回）
- ・利用状況…新規利用者 0名
終了・中断利用者 3名（長期入院2名、居宅介護変更1名）
- ・サービスごとの特徴
通いサービス…1日平均 16.2回（前回14.0回）
泊りサービス…1日平均 7.0回（前回5.3回）
訪問（介護）…1日平均 7.2回（前回7.1回）
訪問（看護）…1日平均 0.6回（前回0.4回）
- ・利用者の状況…特に意見や報告事項なし。

2、介護サービスの状況。

11月に入り、新型コロナウイルス陽性者2名あり（自宅療養1名、施設療養1名）両名とも服薬治療により重症化せずに経過。感染利用者の介護は、対策としてN95マスクやアイガード・ガウンを着用して対応している。新型コロナのワクチン接種の自己負担額が高額となったため、接種者はほぼ無い状況。

複合型では、地域活動の自粛や面会制限も継続している状況。利用者・職員のマスク着

用に加え、毎回の検温を実施。テーブルのパーテーション設置も継続している。

今回、利用者の発熱により検査を実施して感染が判明。高熱や肺炎などの重症化となれば入院も検討する。5類となった今でも病院や高齢者施設の対応は変わらない状況。3～4日の潜伏期間があるため、クラスター（5名以上の感染拡大）も注意が必要。気温の低下により感染拡大のリスクが高くなる。換気を大切に対応していることなどを報告した。

3、地域の状況、課題・要望・助言 等

高齢者（65歳以上）の人口はしばらく大きく減少することなく経過する。限られた社会資源の中、高齢者入所施設を増やすより必要な支援が行き届くことが大切。介護分野だけではなく、どの業種も人材不足。施設は人材が無いと増やすことができない。今後、最期まで自宅で暮らしたい方の支援サービスが不足することが考えられる。事業所の経営が成り立つかも重要なことであることなど意見交換を行った。

包括支援センターより、認知症の進行についての相談は早めに受診されるケースが多くなっている印象。専門医から閉じこもりにならない生活や、服薬指導を受けることができる。

認知症になっても今まで通りの生活が続けられる地域をつくることが大切。一人暮らしの高齢者が多いため地域での見守り体制を考えることも重要。地域のサロンではフレイル予防の学習を行っている。話題を提供することで関心を持たれるようにしている。サロンで要介護者の受け入れも検討しているとの報告あり。

人との繋がりの有無が、健康状態にも影響すると言われている。地域ごとに幅広いインフォーマルな資源の拡大が求められている。限られた資源が「蜘蛛の巣」のように地域をカバーする見守りの目が大切など意見交換を行った。

4、その他

- ・きょうりつカフェひだまり（認知症カフェ）

10月はクイズ、タオル体操、ハーモニカ・ギター演奏など行った。

- ・外部評価…次回の運営委員会にて外部評価の進捗状況について確認する。

○ 次回、運営推進会議日程 2025年1月24日（金）14時～
※第4金曜日

以上